

6. 指導過程

段階	学習活動・内容	時間	○教師の支援 ◎評価	資料
つかむ	<p>1. これは古墳といいます。気づいたことを発表してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大きいなあ。 ○どこにあるのだろう。 ○四角い山が二つあるなあ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 古墳は誰が何のためにつくったのだろう。 </div>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○博物館資料「空から見た桜井古墳」や「桜井古墳実測図」を提示して、気づいたことについて自由に発表させることで、古墳に対する関心を高めたい。 ○単なる数値としての大きさではなく、学校の敷地などと比較してその大きさを実感させたい。 ○古墳は墓であること、桜井古墳は原町市にあることなどを確認し、誰が何のためにつくったかをめあてとしていきたい。 	写真図
しらべる	<p>2. 古墳をつくるために働いている人々です。気づいたことを発表してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古墳上で見張っている人はどんな役割なんだろう。 ○槍や刀をもった兵士が、働いている人を監視している。 ○石や人形みたいなものが並んでいる。 ○土を固める、石を運ぶなどの作業をしている。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書の想像図を手がかりに、細部まで目を配らせ、一人一人の気づきを全員で確認していくようにする。 ○古墳に使われたものと同じくらいの大きさの石を持たせてみることで、作業の困難さを実感させたい。 	
	<p>3. 古墳について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○古墳は豪族の墓。 ○豪族が自分の力の強さを見せつけるために農民につくらせた。 ○埴輪などの副葬品もある。 ○全国につくられた。 ○古墳をつくるために多くの日にかかった。 	15	<ul style="list-style-type: none"> ○古墳について、教科書や資料をもとに調べたり、発表させたりすることで主体的な学習を促したい。 ○古墳について調べ、豪族が自分の権力の強大さを主張するためにつくらせたことをとらえられるようにしたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎豪族の力の強大さに気づくことができたか。(ノート・発表) </div>	
まとめる	<p>4. 福島県と宮城県の古墳の分布図です。どんなことに気づきますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの周りにいっぱいあるんだ。 ○浜通りにもたくさんあるぞ。 ○桜井古墳より大きいものもあるぞ。 	10	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちの身近なところにも多くの古墳があることを資料を通して実感させたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◎自分たちの住む地方にも豪族がいたことがわかったか。(発表・態度) </div>	分布図
	<p>5. 古墳づくりに関わった人たちの気持ちを想像してみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豪族……立派な墓をつかって俺の力を見せつけてやる。 ○農民……何で俺たちはこんな大変な作業をさせられるんだ。 ○技術者……自分の設計どおりにできてきたなあ。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ○吹き出し等を利用して、古墳づくりに関わった人々の立場に立って、その気持ちをまとめ発表させたい。 	学習プリント